

BSE342 およびBSM342 ベースステーションの設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[製品の説明および使用方法](#)

[BSE342](#)

[BSM342](#)

[動作モードおよび記述](#)

[Base Station Client Utility による設定](#)

[BSCU をインストールして下さい](#)

[ベースステーションにクライアントおよび関連を設定して下さい](#)

[ベースステーションを設定して下さい](#)

[Webブラウザによるベースステーションの設定](#)

[ベースステーションに参照して下さい](#)

[ベースステーションの特性](#)

[Telnet による設定](#)

[ロードファームウェア](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Aironet 340 シリーズ ベースステーション BSE342 および BSM342 (総称的にベースステーションまたは BSx と呼ばれる) は、ホーム ユーザや小規模オフィスにイントラネットやインターネットへのワイヤレス接続を提供します。イーサネット RJ-45 ポートを備えたベースステーションは、デジタル加入者線 (DSL) またはケーブルモデム経由でインターネットに接続できます。BSM342 には、複数のコンピュータが 1 つのダイヤルアップ接続経由でインターネットにアクセスできるようにする統合 56k v.90 ダイヤルアップモデムが搭載されています。

使いやすいグラフィカル インターフェイスですぐにベースステーションをインストールし、設定できます。システムとおよび Cisco Aironet クライアントアダプタと併用するための含まれている Base Station Client Utility (BSCU) はこれらのタスクを行うために Windows クライアントを使い易い ツール提供します。Linux および MacOS クライアントは Telnet が HTTP 接続によって迅速かつ簡単にベースステーションを設定できます。

BSE342 におよび BSM342 に直接ケーブル接続を作るためコンソールポートがありません。デフォルト設定は無線クライアント PC がポイントから BSCU、Webブラウザ、または有線接続の必要なしで Telnet クライアントによって接続をすることができるベースステーションと関連付け

るようにします。

[前提条件](#)

[要件](#)

この資料に説明があるタスクを行う前にクライアントアダプタをインストールするのにこれらの手順を使用して下さい:

- [Cisco Aironet 340 シリーズ ワイヤレス LAN アダプタ](#)
- [Cisco Aironet 350 シリーズ ワイヤレス LAN アダプタ](#)

クライアントPC でインストールされる BSCU がまたあるはずですが ([インストール](#) で詳述されるステップに [BSCU](#) セクションに従って下さい)。Linux または MacOS クライアントからのベースステーションを設定することを計画する場合場合 Webブラウザについて詳しく知っている Telnet で接続して下さい。

[使用するコンポーネント](#)

この資料はファームウェアの版を実行する BSE342 および BSM342 ベースステーションに相当です。

多くの異なった無線クライアント プラットフォームによって Cisco Aironet BSx342 ベースステーションを使用することは可能性のあるの間、現在 BSCU は Microsoft Windows 95 を実行するプラットフォームでだけ、98、2000 年、ME および XP サポートされます。Linux および MacOS クライアントはベースステーションを HTTP によって設定するか、または Telnet で接続するのに Webブラウザか Telnet クライアントを使用する必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[製品の説明および使用方法](#)

[BSE342](#)

Cisco Aironet BSE342 ベースステーションに有線ネットワークに接続するべき 10/100BaseT イーサネットインターフェイスがあります。インターネットへのホーム ネットワークの接続のために BSE342 が Point-to-Point Protocol (PPP) over Ethernet (PPPoE)、頻繁に DSL によってインターネットサービスプロバイダー (ISP) によって必要なプロトコルまたはケーブルモデムを使用できます。

[BSM342](#)

BSM342 は BSE342 の機能を所有し、また ISP にダイヤルアップモデム接続を可能にするために v.90 モデムを組み込みます。

[動作モードおよび記述](#)

BSE342 のために設定可能な 3 つの動作モードがあります: ケーブルか DSL モデム、アクセス ポイント、または PPPoE。BSM342 に 1 追加モードがあります: ダイヤル式。

- **Cable/DSL モデムモード**はベースステーションがケーブルか DSL モデムを通して ISP およびインターネットに接続するようにします。
- **PPP over Ethernet** モードは ISP がケーブルか DSL モデムを通して PPP を使用するとき使用されます。
- **アクセスポイントモード**はスタンドアロン無線ネットワークをサポートするか、またはワイヤレスアクセスのための内部 LAN に接続します。この設定はワイヤレス ターミナルがプリンタおよびサーバのようなローカル LAN リソースにアクセスするようにします。
- **ダイヤル式モード**は電話回線にベースステーションを接続し、ISP と通信するのに内部モデムを使用します。

Base Station Client Utility による設定

BSCU によるベースステーションの設定はこれらのステップを必要とします:

1. [BSCU をインストールして下さい](#)
2. [クライアントの設定](#)
3. [ベースステーションを設定して下さい](#)

BSCU をインストールして下さい

BSCU をインストールするために次の手順に従って下さい:

1. クライアント無線 カードを挿入して下さい。
2. Base Station Connection Status (BSCS) ユーティリティが PC でインストールされている場合、システムトレイの電話アイコンを右クリックし、BSCU のインストール前に『Exit』を選択して下さい。
3. ベースステーションを設定するのに使用されるべきコンピュータの CD-ROMドライブに CD を置いて下さい。
4. CD のコンテンツを表示するのに Windowsエクスプローラを使って下さい。
5. それを表示するために BSCU フォルダをダブルクリックして下さい。
6. **setup.exe** ファイルをダブルクリックして下さい。インストール ウィザードは現われます。
7. インストール ウィザードが提供するステップに従って下さい。
8. インストール ウィザードによって要求された場合、『Talk To A Base Station To Access The Internet』を選択して下さい。
9. **起動 Base Station Client Utility** エントリ ボックスをチェックし、ユーティリティを開始するために『Finish』をクリックして下さい。

ベースステーションにクライアントおよび関連を設定して下さい

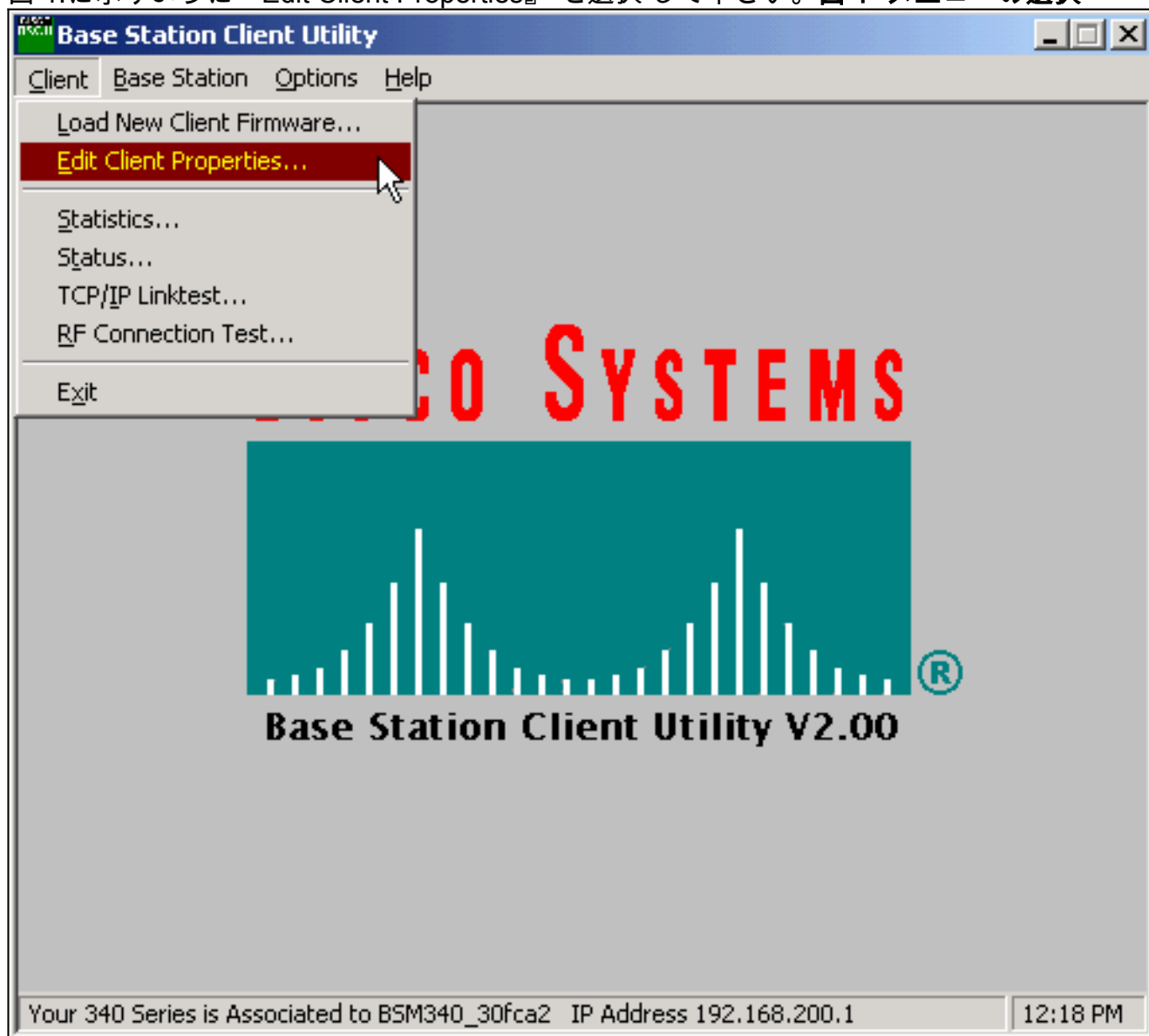
ベースステーションにコンソールポートがありません。従って BSCU の初期設定に関しては無線リンクを通してベースステーションに接続することは必要です。これを達成するために、クライアントを設定して下さい。

ベースステーションに tsunami の Service Set Identifier (SSID) の工場出荷時のデフォルト設定があります。SSID がベースステーションに関連付けることができるクライアントを特定するの

に使用されています。tsunami にクライアントの SSID を設定して下さい。追加クライアントコンフィギュレーション情報については[クライアントアダプタの設定](#)を参照して下さい。

クライアントを設定し、ベースステーションにそれを関連付けるために次の手順に従って下さい:

1. (Base Station Client Utility) メニューバーから、『Client』 を選択して下さい。
2. 図 1.に示すように『Edit Client Properties』 を選択して下さい。図 1-メニューの選択



3. SSID がデフォルト tsunami に設定されるようにして下さい。コンピュータ名値はウィンドウズオペレーティングシステムで設定される名前にデフォルトで設定されます。この名前は無線ネットワークでユニークである必要があります。注: Computer Name 設定への変更により PC の他のネットワークプログラムを認識されない操作不可能なおよび PC ログインパスワードであるために引き起こす場合があります。この設定を変更するとき注意して下さい。
4. チェックボックスによってマークされる Enable Encryption (WEP) がチェックを外されることを確認して下さい。
5. [OK] をクリックします。

図 2 -クライアント Properties

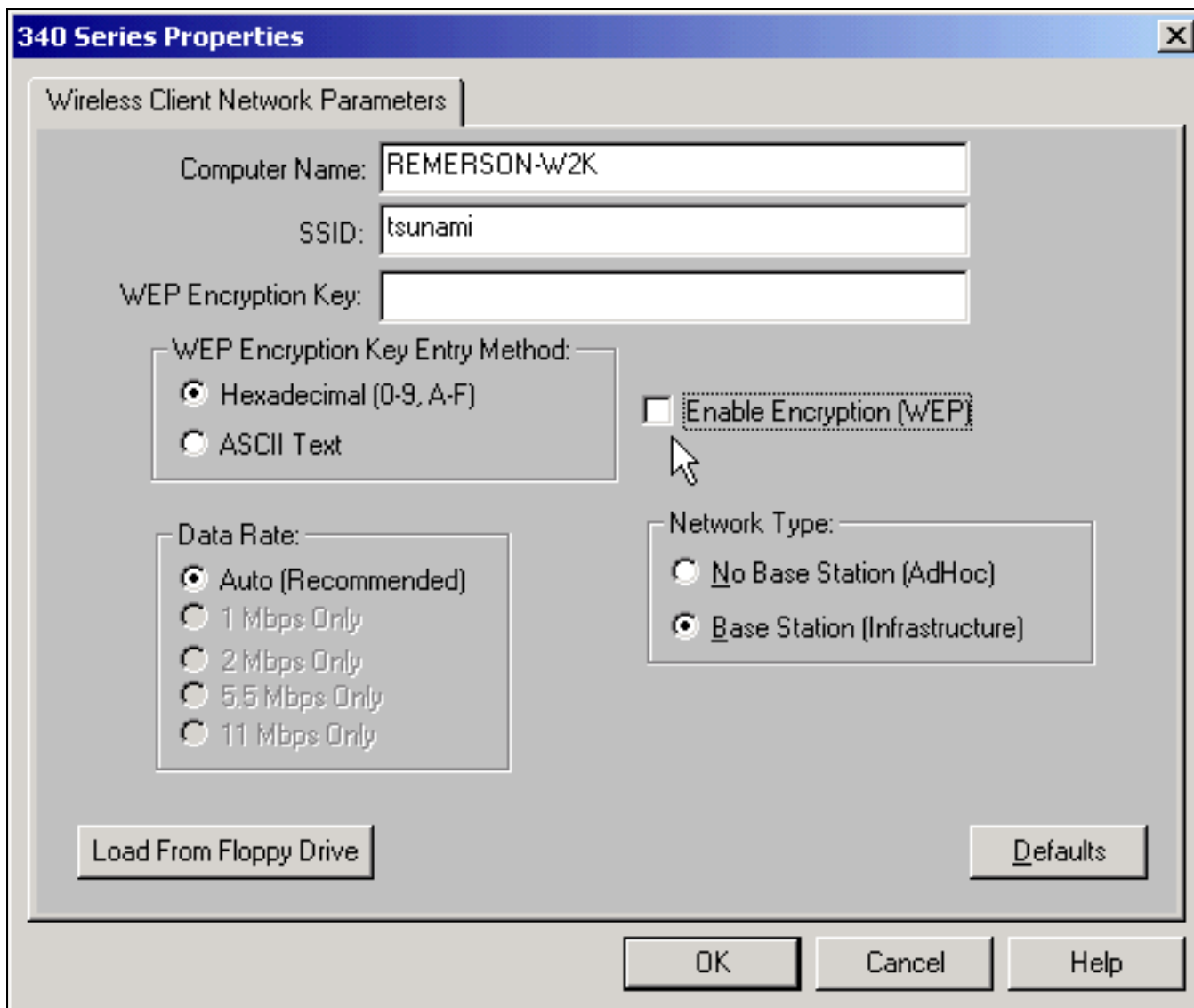


図 3 -ステータスバー

Your 340 Series is Associated to BSM340_30fca2 IP Address 192.168.200.1 11:48 PM

クライアントがベースステーションと関連付けこの時点で損う場合デフォルト設定にベースステーションをリセットして下さい。 [Reset ボタンとの設定デフォルトを](#)参照して下さい。

Reset ボタンはベースステーションのバックパネルの小さいホールにあり、デフォルト値に基地局パラメータをリセットするのに使用されています。

Reset ボタンをアクティブにするために、これらのステップを完了して下さい:

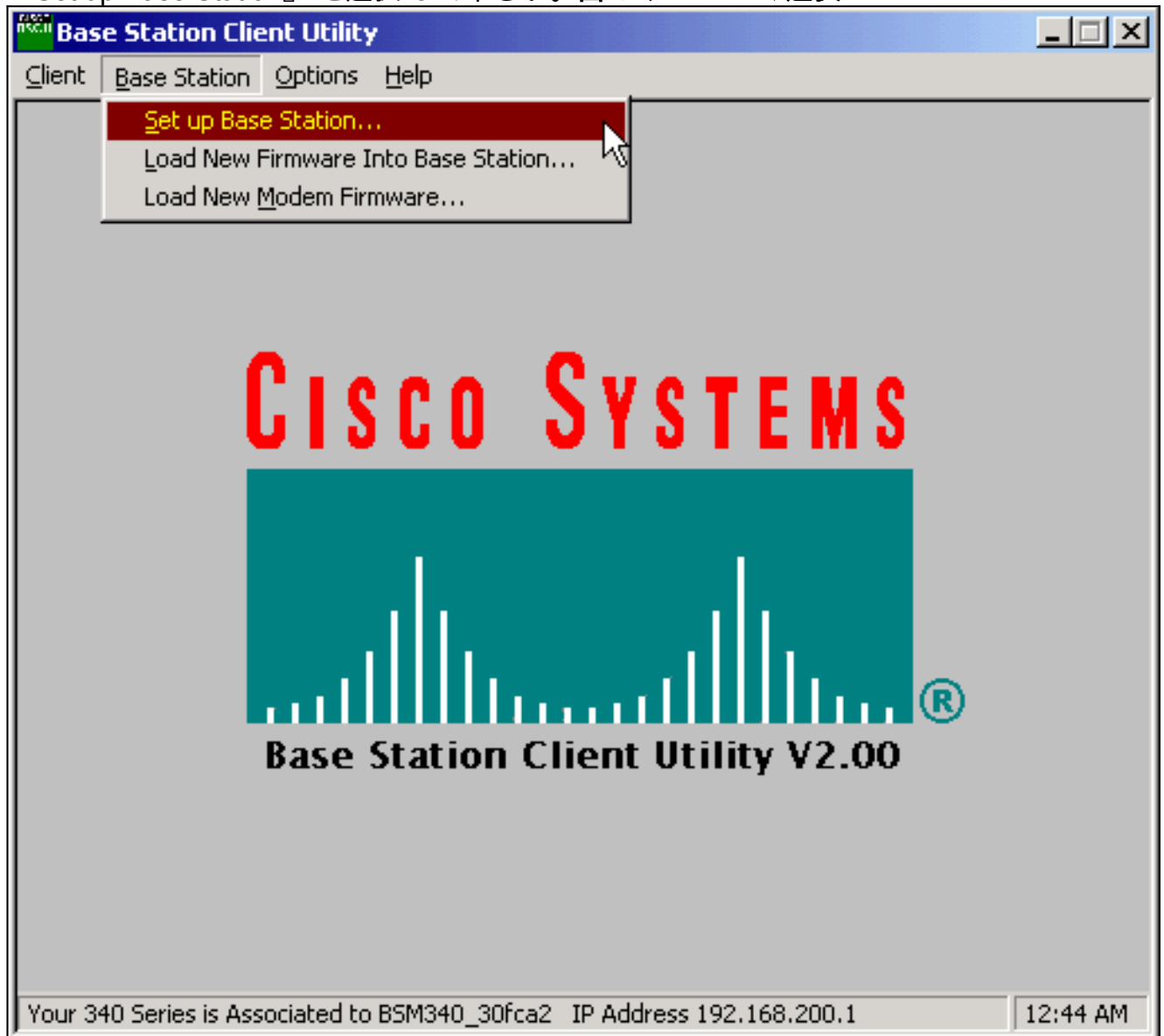
1. まっすぐにされたペーパークリップを小さいホールに挿入し、押して下さい。
2. ペーパー クリップを外します。
3. ステータス LED がオレンジに点滅して、ベースステーションが次のデフォルトのパラメータ値になったことを示します。ベースステーションは『OK』をクリックする場合これらの設定を送信します。ベースステーションへの変更を行なうために『Edit Base Station Settings』をクリックして下さい。

[ベースステーションを設定して下さい](#)

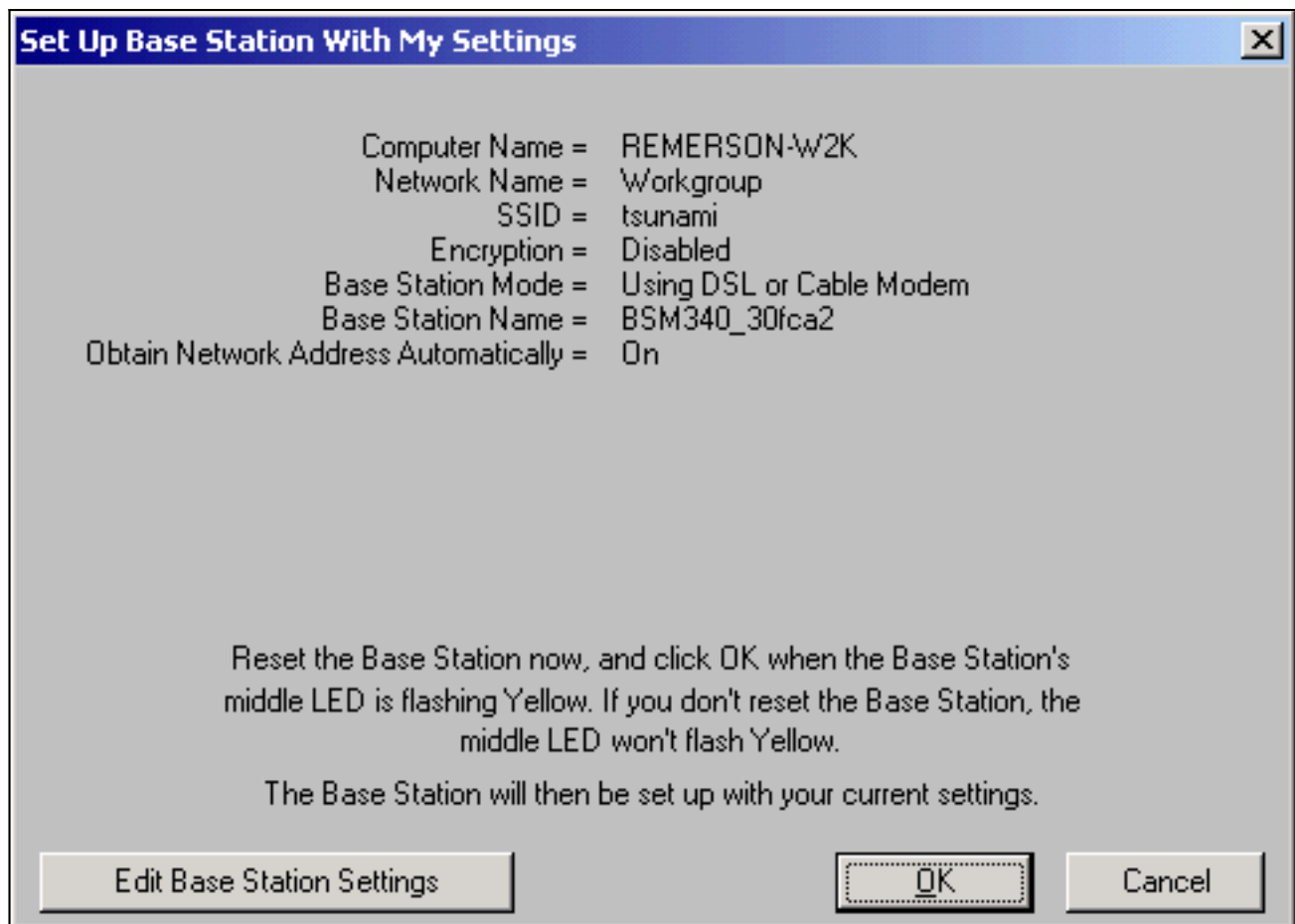
無線クライアントはベースステーションと関連付けられることを BSCU が示せば、設定を続行で

きます。

1. メニューバーから、『Base Station』を選択して下さい。
2. 『Set up Base Station』を選択して下さい。図4-メニューの選択



Settings ウィンドウが付いているセットアップベースステーションは現在のベースステーション設定を表示する。図5-現在の設定



ベースステーションはネットワークの意図されていたロールに適するために今設定することができます。

- 表示する設定に満足する場合、『OK』をクリックして下さい。ベースステーション設定を受け入れるために『OK』をクリックするとき BSCU は設定にベースステーションを設定しましたり、同じベースステーション設定に自動的にワイヤレス PC のクライアント無線を設定します。

無線ネットワーク パラメータ

Edit Base Station Settings ボタンをクリックするとき、受け入れることができたりまたはベースステーションおよびクライアントカードの SSID、Wired Equivalent Privacy (WEP) キー エントリ方式、WEP暗号化キーおよび暗号化設定を変更するベースステーション **無線ネットワーク パラメータ** 画面は表示する。

図 6 -無線ネットワーク パラメータ

Base Station Wireless Network Parameters

SSID: tsunami

WEP Encryption Key:

WEP Encryption Key Entry Method:

Hexadecimal (0-9, A-F)

ASCII Text

Enable Encryption (WEP)

More Info Defaults Next > Cancel

SSID（設定されたサービス識別子）はベースステーションの無線ネットワークを識別し、ベースステーションと通信するすべてのワイヤレス デバイスによって使用する必要があります。この値を変更するために、エントリ ボックスで新しい名前を入力して下さい。1 から 32 の ASCII 文字に入ることができます。

WEP Encryption 鍵 エントリ方式は暗号化キー エントリ方式を選択します。にこの値を、クリックします **16 進法 (0-9, A-F)**、または **ASCII テキスト**を変更します。

WEP暗号化キーは 128-bit 暗号化をセキュリティに与えます。暗号化キーはすべてのワイヤレス デバイスおよびベースステーションで同じ丁度設定する必要があります。このエントリはクライアント無線 カードだけで利用できますそのサポート 128-bit WEP。このフィールドの正当なエントリは選択した キーエントリ方式によって決まります。ASCII エントリの場合、1 つから 13 の ASCII 文字は使用することができます。16 進法エントリが選択される場合、1 つから 26 の 16進文字 (0-9, AF) は使用されるかもしれません。

Enable Encryption (WEP) チェックボックスは 128-bit 暗号化の使用を有効にするか、またはディセーブルにします。設定を変更するためにボックスをクリックして下さい。

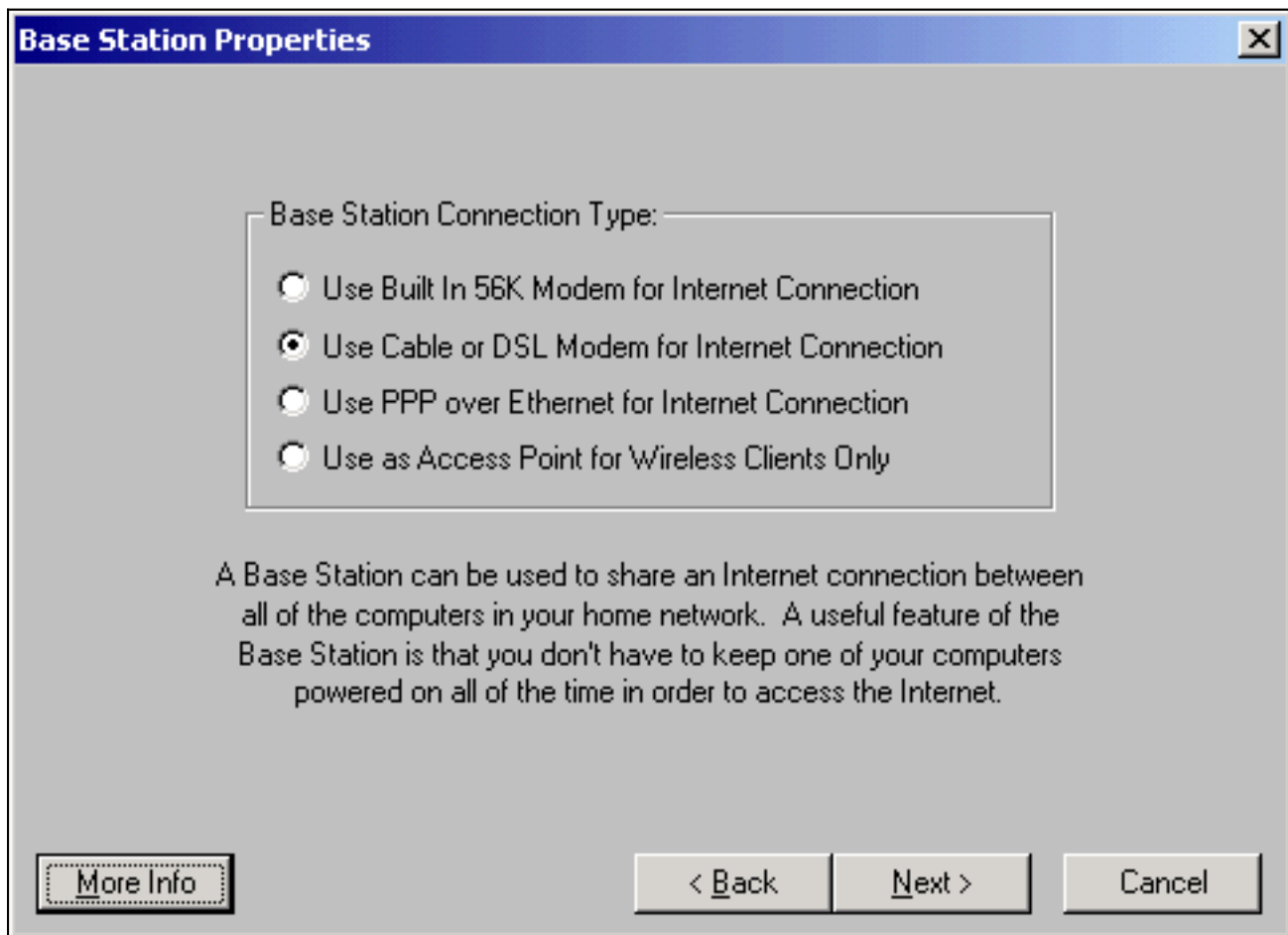
注: すべての無線クライアント PC の SSID および WEP Encryption 鍵設定はベースステーションの設定を完全に一致する必要があります。ベースステーションのこれらのパラメータを変更する場合、クライアントカードを新しい設定を一致するために再構成するのに他のすべてのワイヤレス PC で BSCU を使用して下さい。

ネットワークパラメータを設定したら、次に分類されるボタンをクリックして下さい。

[ベースステーションの特性](#)

ベースステーション特性画面は図 7.示される接続タイプ オプションを選択することを可能にします。

図 7 -ベースステーション特性



異なるモードの説明に関しては、[動作モードおよび説明](#)セクションを参照して下さい。Next ボタンを使用し、クリックしたいモードのオプション ボタンをクリックして下さい。

- [DSL/Cable モデムモードのために設定して下さい](#)
- [PPPoE モードのために設定して下さい](#)
- [アクセスポイントモードのために設定して下さい](#)
- [ダイヤル式のために設定して下さい](#)

[DSL/Cable モデムモードのために設定して下さい](#)

DSL リンクまたはケーブルモデムからの高速インターネット接続があれば DSL/Cable モデムのイーサネットインターフェイスにベースステーションを接続することができます。

ケーブルか DSL モデムモードはベースステーションのデフォルトモードです。このモードはサービスプロバイダーによって提供される既存の DSL かケーブルモデムに接続することを可能にします。

ベースステーション特性画面 (図で 7) 『Use Cable or DSL Modem for Internet Connection』を選択し、示されている『Next』をクリックして下さい。

図 8 - Cable/DSL モデム Properties

Base Station Properties [X]

Cable / DSL Modem Properties

Base Station Name: BSM340_30fca2

Obtain IP Address Automatically:
 No
 Yes

Base Station IP Address: 192.168.1.21

Subnet Mask: 255.255.255.0

Default Gateway: 192.168.1.1

DNS Server 1: 10.1.1.1

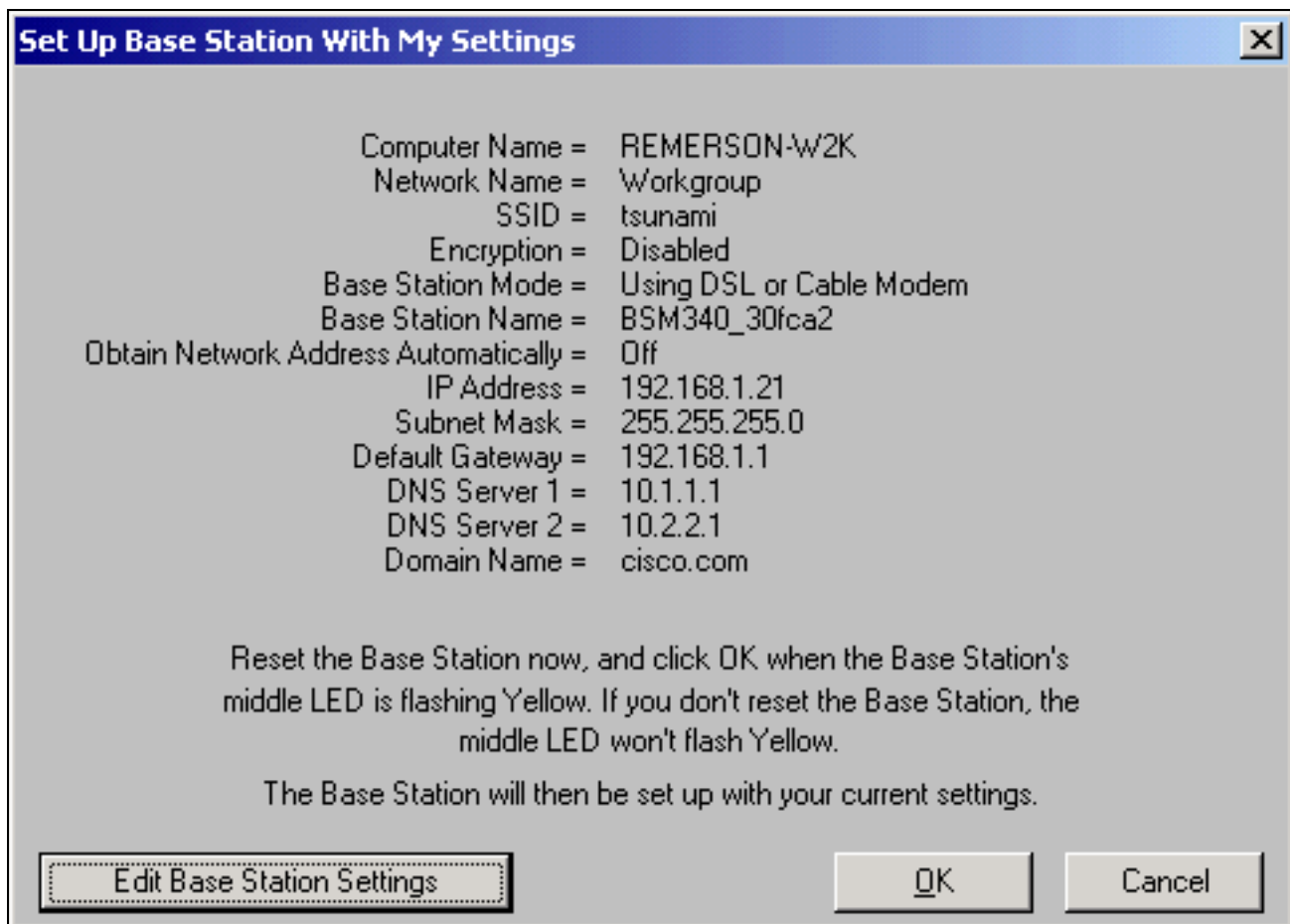
DNS Server 2: 10.2.2.1

Domain Name: cisco.com

More Info < Back Next > Cancel

設定されたパラメータの主要なセットアップスクリーンへのリターン『Next』をクリックすれば。ベースステーションにワイヤレスリンクを渡るパラメータを送るために『OK』をクリックして下さい。

図 9 - Cable/DSL 設定



PPPoE モードのためのセットアップ

PPP over Ethernet (PPPoE) モードは ISP がケーブルモデムか DSL モデムを通して通信のためにプロトコルを必要とするとき使用されます。ベースステーションは DSL かケーブルモデムにイーサネットによって物理的に接続されます。

ベースステーション特性 画面 (図で 7) 『Use PPP over Ethernet for Internet Connection』 を選択し、示されている 『Next』 をクリックして下さい。

PPP Over Ethernet Properties 画面では現われる、ISP から提供されるユーザ名、パスワード、およびドメイン名を入力して下さい。 [Next] をクリックします。

図 10 - PPPoE のプロパティ

Base Station Properties

PPP Over Ethernet Properties

Login User Name: cisco

Login Password: xxxxxxx

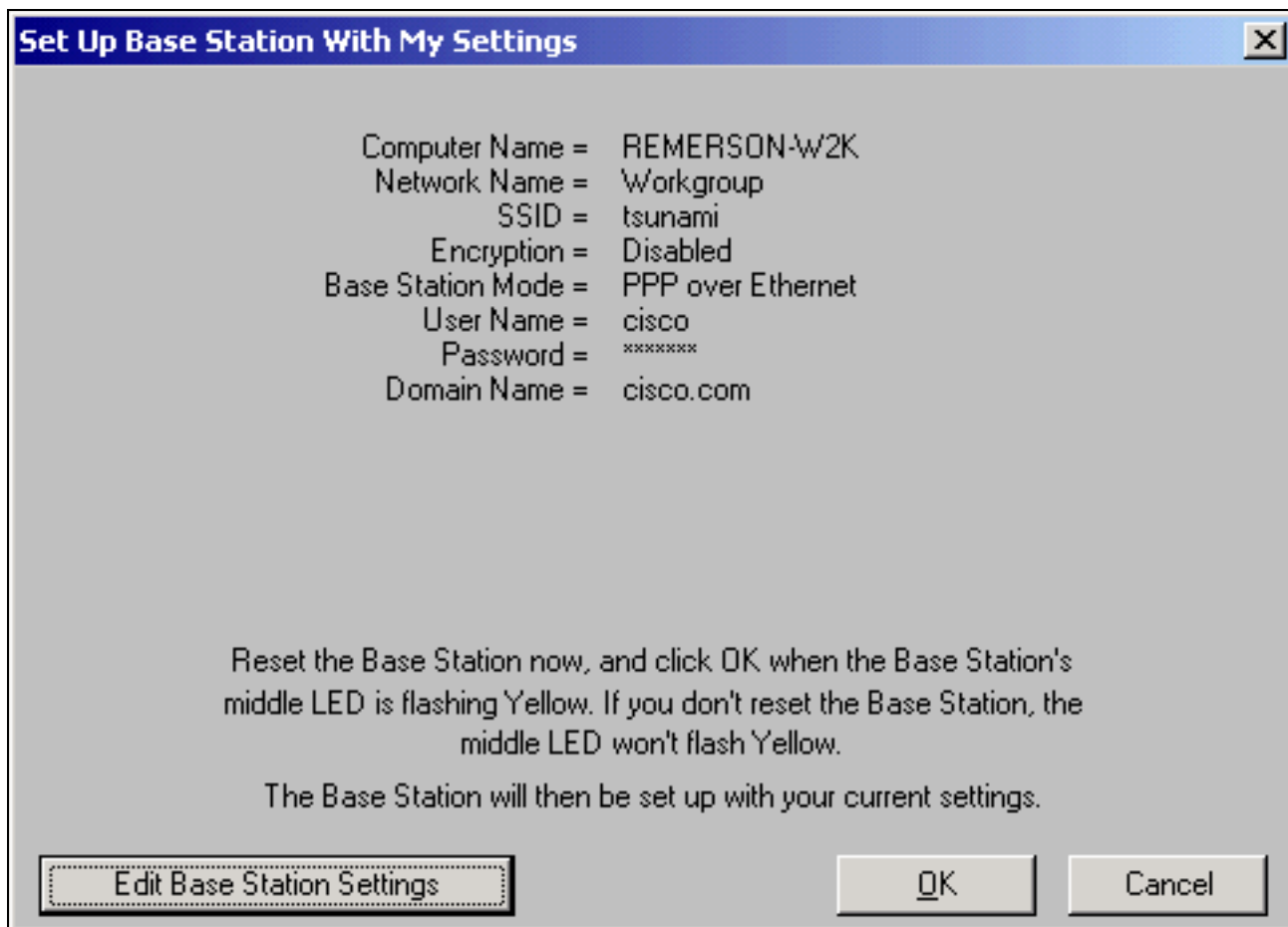
Service:

Domain Name: cisco.com

More Info < Back Next > Cancel

新しい設定は表示する。ベースステーションのモードおよび他のパラメータが設定される確認し、ベースステーションに設定を送信するためにことを『OK』をクリックして下さい。

図 11 - PPPoE の 設定



アクセスポイントモードのためのセットアップ

アクセスポイントモードでベースステーションは内部無線LANに接続できます。このモードでワイヤレスデバイスはネットワークリソースのための無線LANにアクセスできます。

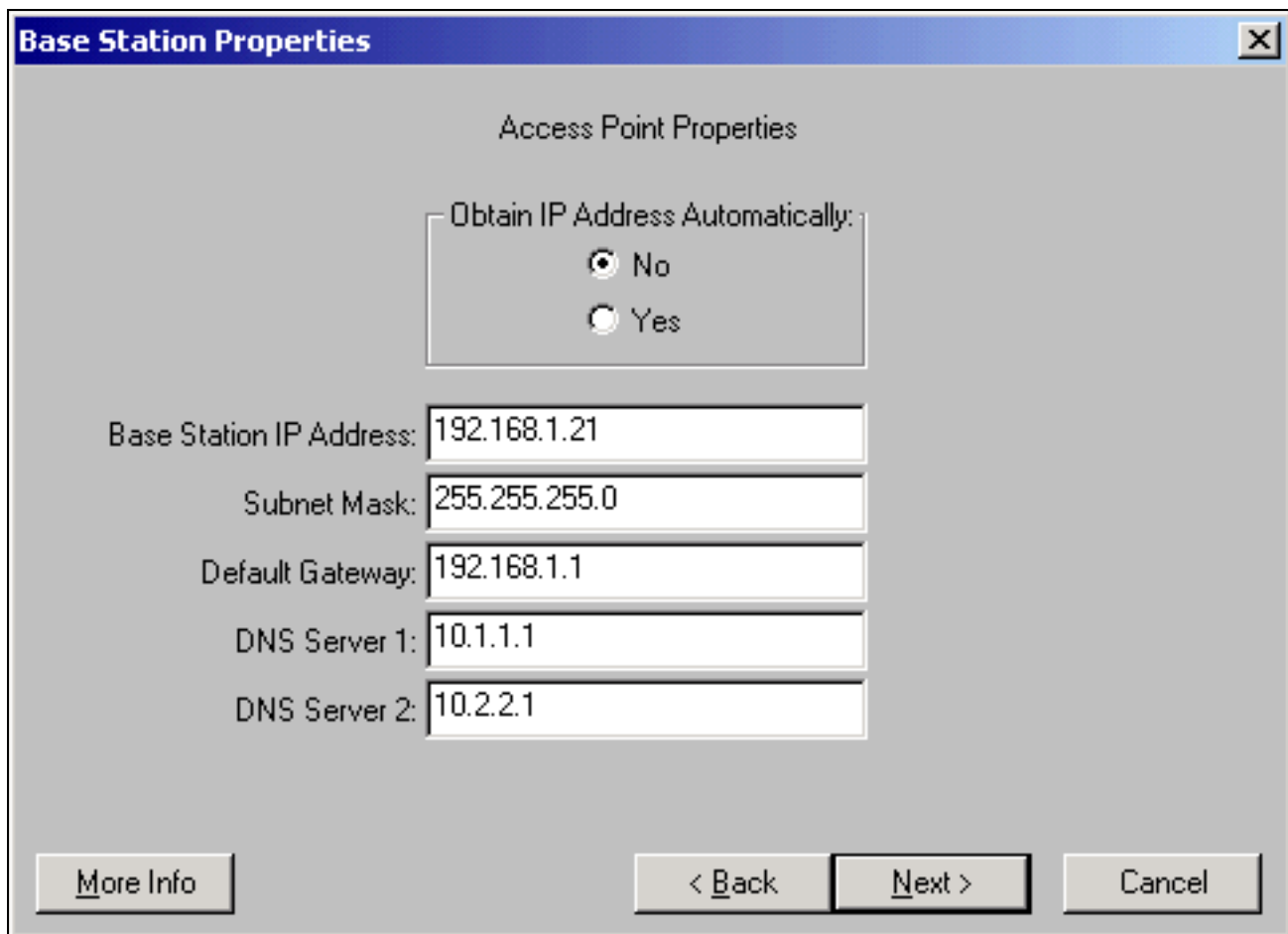
アクセスポイントモードでベースステーションはワイヤレスが配線されたデバイスにDHCPサーバ機能かNAT機能を提供しません。有線ネットワークがDHCPサーバが含まれている場合自動的にDHCPによってネットワーク情報を得るために、無線カードが使用されるときワイヤレスPCは設定することができます。ベースステーションは典型的なアクセスポイントとして機能し、DHCPサーバに/からDHCPパケットを渡します。

注: 外部DHCPサーバを使用するときベースステーションIPアドレスを得るために、Cisco Aironet 340 シリーズベースステーションCDで見つけられるIP Setup Utility (IPSU)を使用できます ([IPSUをインストールすることを参照して下さい](#))。

ベースステーション特性画面 (図で、**使用を無線クライアントオプションボタンだけのためのアクセスポイントとしてクリックし、『Next』をクリックして下さい**) 示されている。

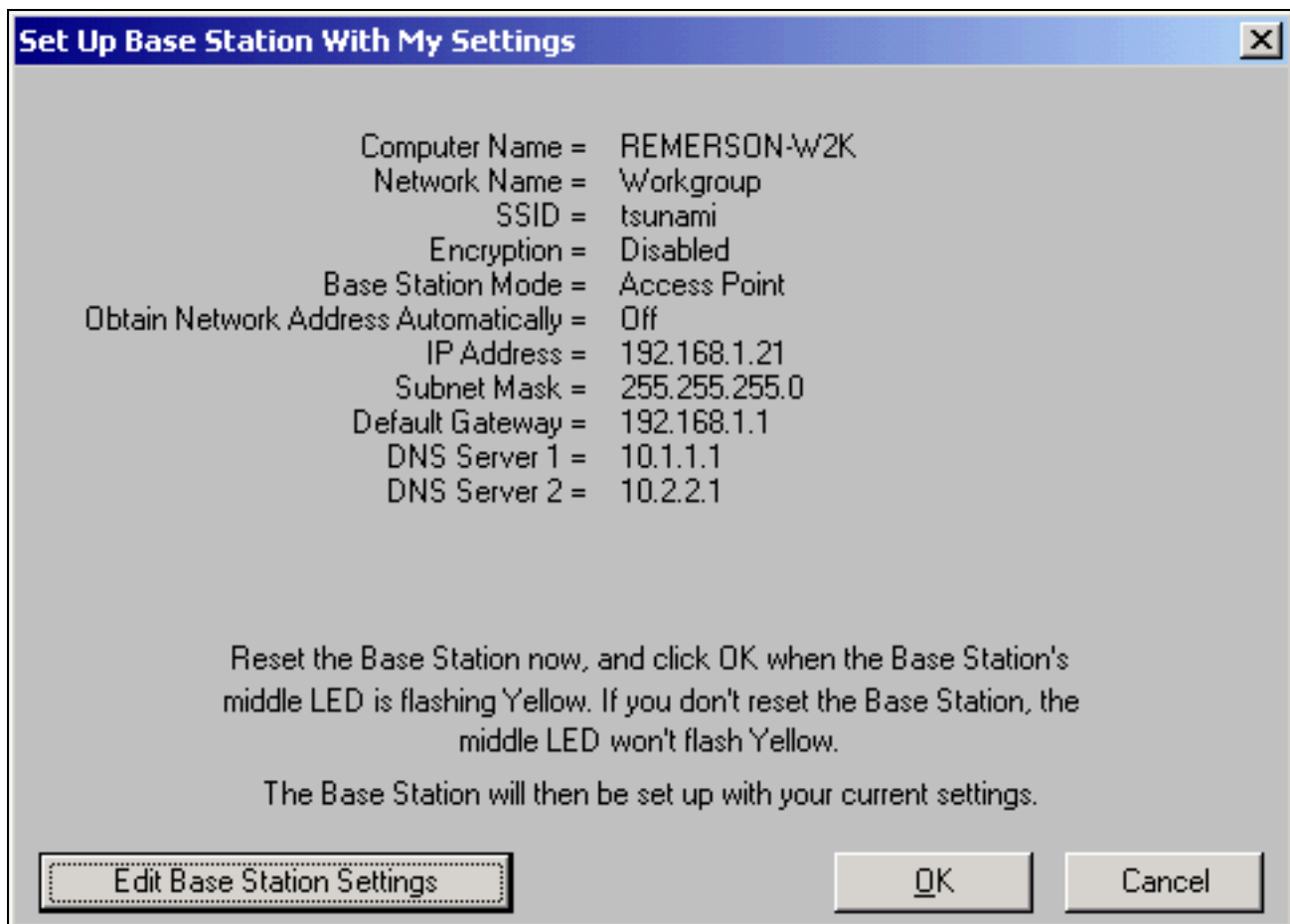
Access Point Properties 画面では現われる、ベースステーションを自動的に受け取ります IP情報を『IF』を選択して下さい。そうでなかったら、アドレス、マスク、ゲートウェイおよびDNS情報をネットワークのために適切ように記入して下さい、『Next』をクリックして下さい。

図 12 -アクセスポイントの特性



新しい設定は表示する。ベースステーションのモードおよび他のパラメータが一定である確認し、次にベースステーションに設定を送信するためにことを『OK』をクリックして下さい。

図 13 -アクセス ポイント設定

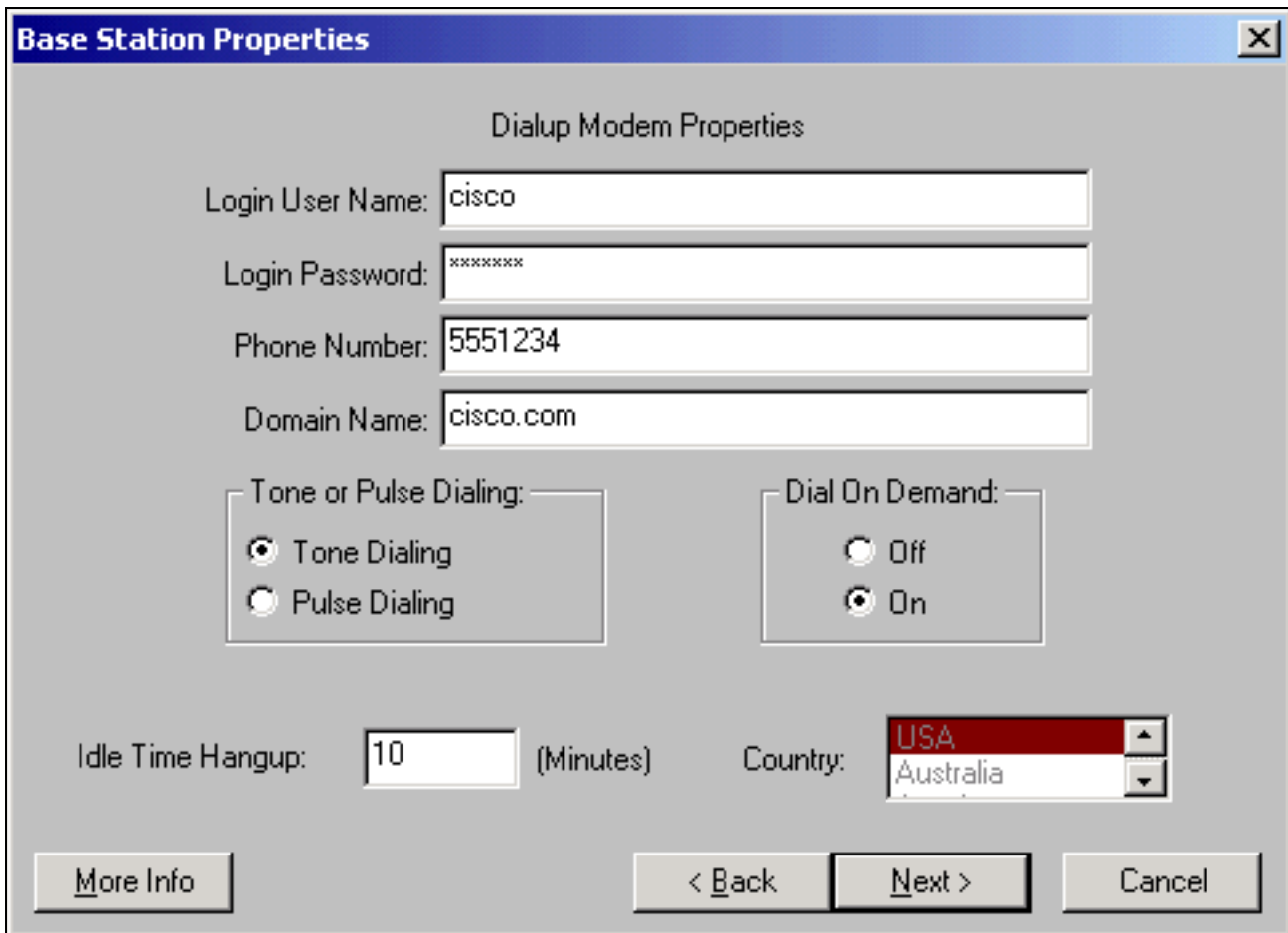


[ダイヤル式のためのセットアップ](#)

BSM342 はブロードバンド インターネット 接続がない時 ISP にダイヤル式のための統合モデムが含まれています。手動で引き起こされたときクライアント PC は ISP にダイヤルインするためにダイヤル オンデマンド接続を開始できたりまたは設定することができます。

ベースステーション特性画面 (図で 7) 『Use Built In 56k Modem for Internet Connection』を選択し、示されている『Next』をクリックして下さい。ダイヤルアップモデムのプロパティ画面は現われます。

図 14 -ダイヤルアップ モデムの プロパティ



ユーザ名、パスワード、電話番号およびドメイン名設定は ISP によって提供する必要があります。

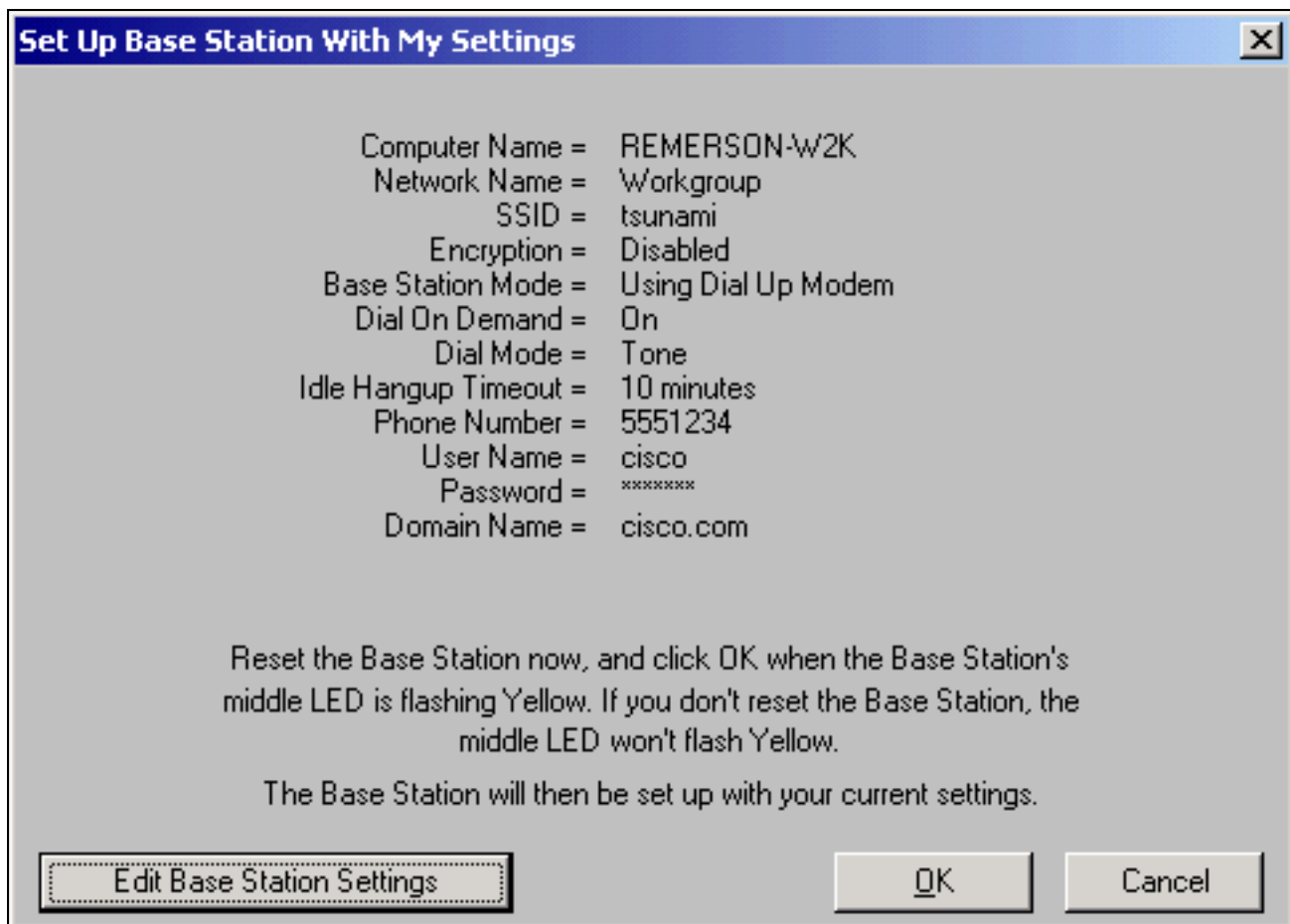
またはベースステーションが接続される電話線の機能に基づいてパルスダイヤル『Tone Dialing』を選択して下さい。

クライアントPC からトラフィックがあるときモデムに自動的に ISP に接続してほしい場合にダイヤルオンデマンド設定を行って下さい。『OFF』を選択する場合、**Base Station Connection Status (BSCS)** 画面で『Connect』をクリックして下さいまたは (インターネットブラウザを使用するとき) 手動で接続を開始するためにベースステーション Main Menu 画面で『Start a connection』をクリックして下さい。

アイドル状態のハングアップ時間設定は IP トラフィックが行を渡って渡されない場合何分をとどまることは ISP に接続したかモデムに告げます。ISP が接続の端で設定されるより短いアイドル時間を過すかもしれないことに注意して下さい。

Country 設定は統合モデムのための国別コードを規定します。ベースステーションが操作される国にこれを設定して下さい (国際的にダイヤルする場合、ない国にモデムダイヤル。)

図 15 -ダイヤルアップ モデムの設定



『Next』 をクリック すれば ダイアルアップの設定は表示する。パラメータを確認し、そしてベースステーションに設定を送信 するために『OK』 をクリックして下さい。

Webブラウザによるベースステーション の 設定

非 Windows プラットフォームを使用するか、または BSCU を使用したい場合 Webブラウザからベースステーションを設定できます。

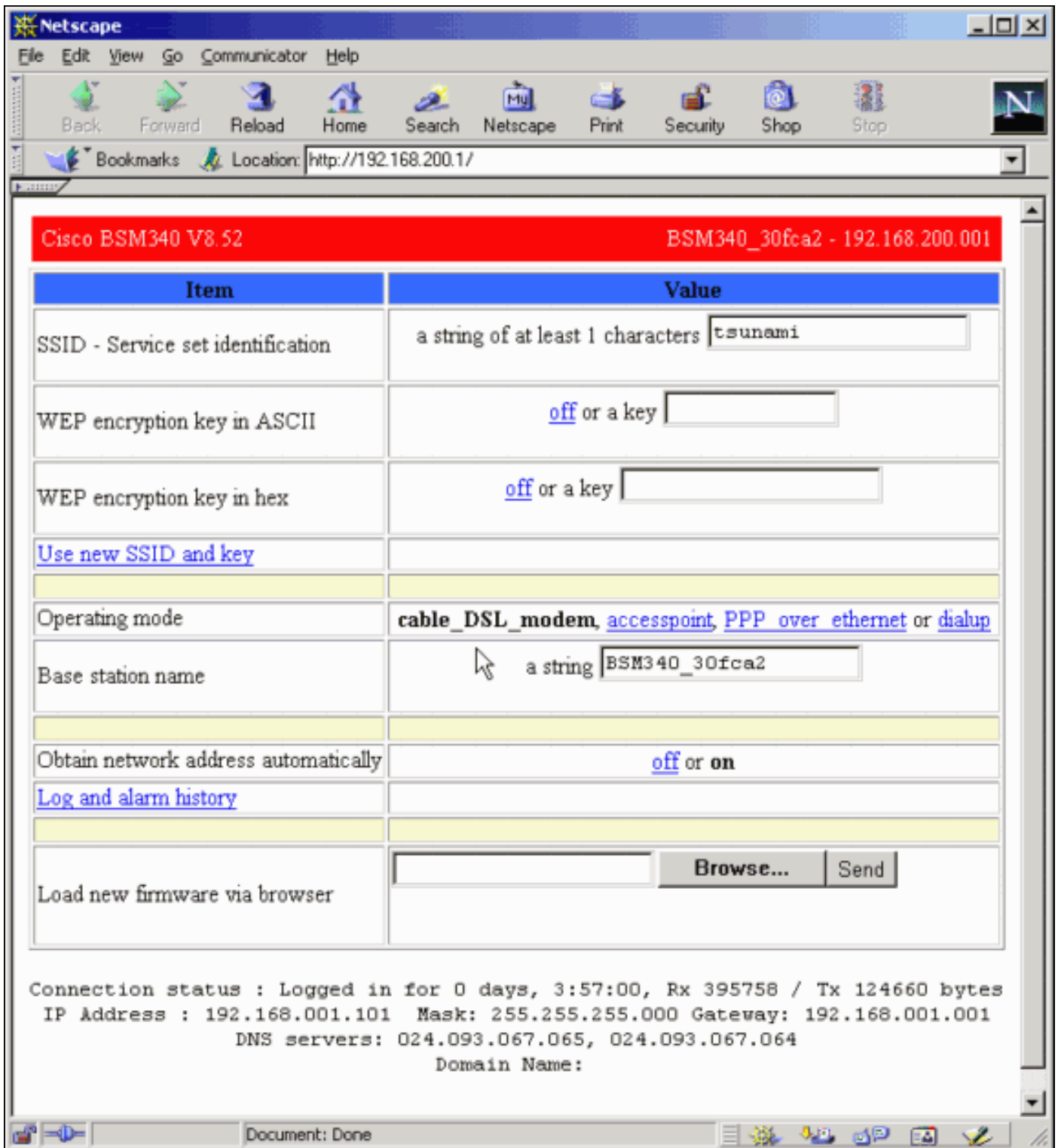
ベースステーションに参照して下さい

Webブラウザとベースステーションに接続するために、BSx ~~の IP アドレス~~を入力して下さい ; Webブラウザのアドレスまたは Location エリアへの ~~s-IP アドレス~~。デフォルト IP アドレスは 192.168.200.1 です; 以前にそれを変更する場合、正しいアドレスを入力して下さい。

注: ブラウザが設定したアドレスがデフォルト IP アドレスと接続しなかったら、デフォルト設定にベースステーションをリセットして下さい。プロシージャのための [Reset ボタンとの設定デフォルトを参照して下さい](#)。

接続されて、メインセットアップページは表示する。

図 16 -メインセットアップページ



主要なセットアップスクリーン ディスプレイ ベースステーションの現在の設定。

ベースステーションの特性

SSID および WEPキー デフォルトを変更する必要があります。 これを行うために、テキストボックスの New 値をタイプして下さい。 ブラウザ エントリ ボックスで情報を入力するとき、エントリを完了するために入力 キーを押して下さい。 SSID および WEPキーへの変更を行なう場合、Aironet Client Utility のクライアントマシンでそれらを設定して下さい。

ベースステーションの変更をアクティブにするために、『Use new SSID and key』 をクリックして下さい。

Cable/DSL モデムモードのために設定して下さい

図 16 では、黒いレタリングで、ベースステーションのデフォルト動作モードが `cable_DSL_modem` であることがわかります。Cable/DSL モデムモードで利用可能な他の構成可能オプションは下記のものを含んでいます:

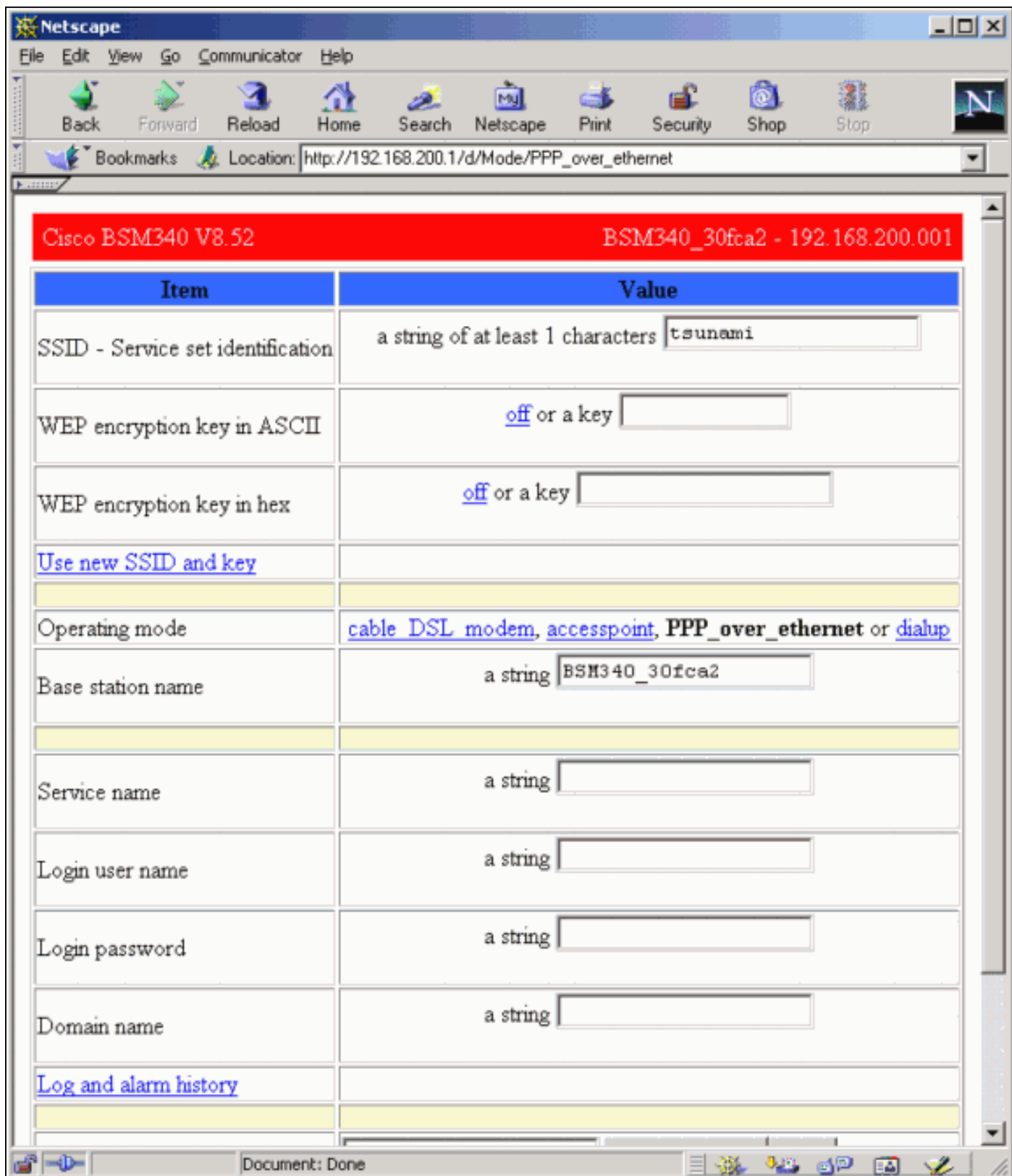
- **ベースステーション名前:** ベースステーションの新しい名前をここに入力し、『Enter』を押して下さい。
- **ネットワークアドレスを自動的に得て下さい:** ベースステーションが DHCPサーバから IP アドレッシング 情報を受け取る場合、これを設定しましたに残して下さい。そうでなかったら、『OFF』を選択して下さい。画面は IPコンフィギュレーション オプションをリフレッシュし、示します。アドレス、マスク、ゲートウェイ、DNS およびドメイン名 情報は ISP によって提供する必要があります。各エントリを入力した後『Enter』を押して下さい。

PPPoE モードのためのセットアップ

図 16 示されているメイン ページから『PPP_over_ethernet』をクリックして下さい。

メイン ページは入るべき PPPoE パラメータと拡張します。ログインネーム、パスワードおよびドメイン名を記入して下さい。これらの値はインターネットサービスプロバイダーによって提供する必要があります。各エントリの端に『Enter』を押すことを忘れないでいて下さい。

図 17 - PPPoE の セットアップ ページ

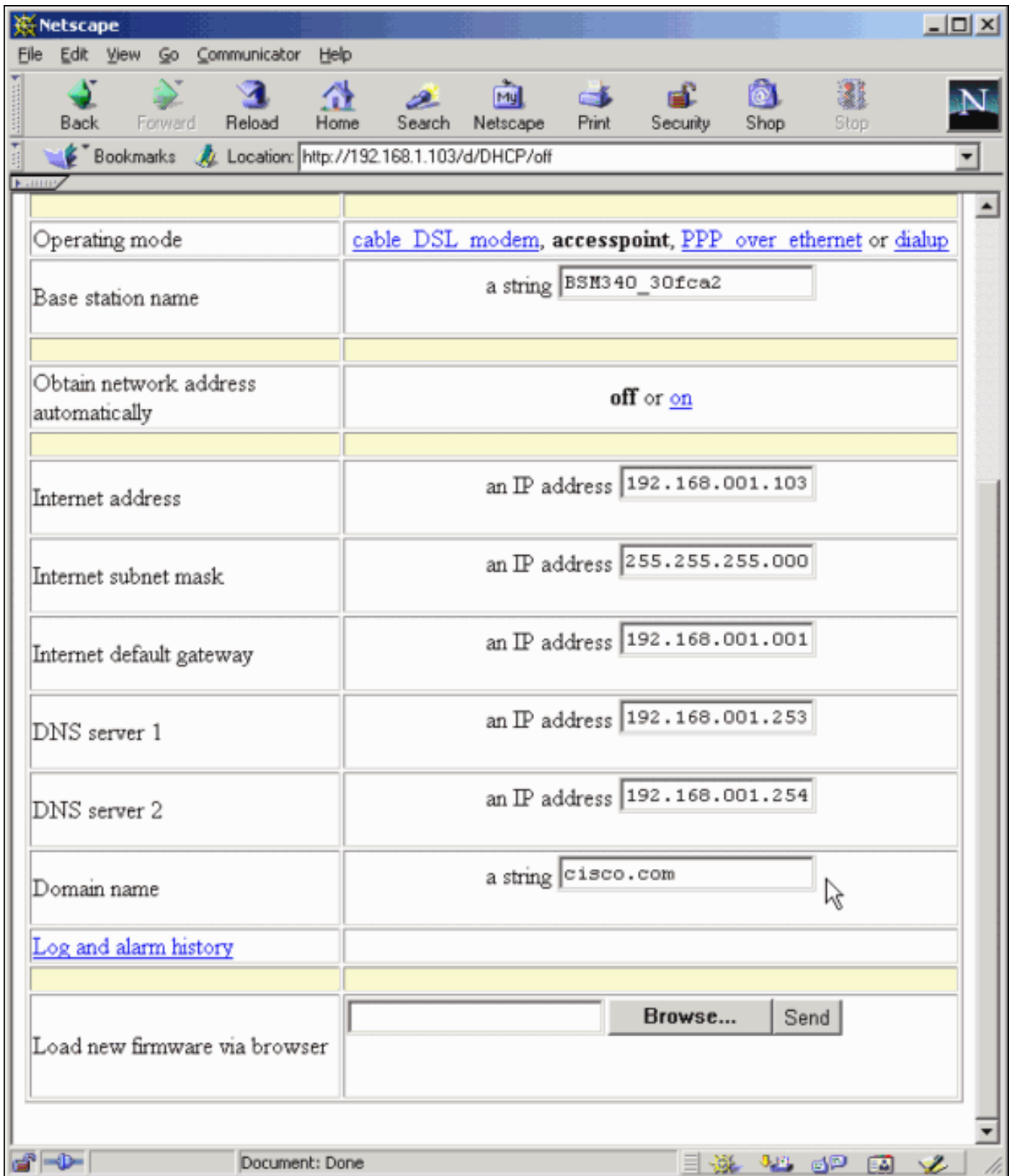


[アクセスポイントモードのためのセットアップ](#)

図 16 示されているメイン ページから『accesspoint』 をクリックして下さい。

メイン ページは入るべきアクセス ポイント パラメータと拡張します。アドレス、マスク、ゲートウェイ、DNS およびドメイン名 情報を記入して下さい。各エントリの端に『Enter』 を押すことを忘れないでいて下さい。

図 18 -アクセス ポイント セットアップページ



[ダイヤル式モードのためのセットアップ](#)

図 16 示されているメイン ページから『PPP_over_ethernet』 をクリックして下さい。

メイン ページは入るべき PPPoE パラメータと拡張します。ログインネーム、パスワードおよびドメイン名を記入して下さい。これらの値はインターネットサービスプロバイダーによって提供する必要があります。各エントリの端に『Enter』 を押すことを忘れないでいて下さい。

ダイヤルオンデマンド設定はにクライアントPC からトラフィックがあるときモデムに自動的に

ISP に接続してほしい場合行う必要があります。『OFF』を選択する場合手動で接続を開始するために、『Start a connection』をクリックして下さいまたは手動でモデムコールを終了するために接続を停止して下さい。

ハングアップ設定を引き起こすアイドル時間の分は IP トラフィックが行を渡って渡されない場合何分をとどまることは ISP に接続したかモデムに告げます。ISP が接続の端で設定されるより短いアイドル時間を過すかもしれないことに注意して下さい。

図 19 -ダイヤルアップの設定

Operating mode	cable DSL modem , accesspoint , PPP over ethernet or dialup
Base station name	a string <input type="text" value="BSM340_30fca2"/>
Dial on demand	on or off
Minutes of idle time to cause hangup	a number of 120 or less <input type="text" value="10"/>
Start a connection	
Stop a connection	
Login user name	a string <input type="text" value="cisco"/>
Login password	a string <input type="text" value="*****"/>
Phone number	a string <input type="text" value="5551234"/>
Tone or pulse dialing	tone or pulse
Domain name	a string <input type="text" value="cisco.com"/>
Log and alarm history	
Load new firmware via browser	<input type="text"/> <input type="button" value="Browse..."/> <input type="button" value="Send"/>

Connection status : Idle

Document: Done

Telnet による設定

ベースステーションの内部 IP アドレスにワイヤレス Telnet接続を開くことは可能性のあるです。

BSx342 に Telnet によって接続されるとき、このメニューを見ます:

図 20 - Telnet BSx342 接続 メニュー

```
Cisco BSM340 U8.52                               Main Menu                               BSM340_30fca2

  Option                Value                Description
1 - SSID                [ "tsunami" ] - SSID - Service set identification
2 - EncryptionKey      [          ] - WEP encryption key in ASCII
3 - HexKey              [          ] - WEP encryption key in hex
4 - Configure          [          ] - Use new SSID and key
5 - Mode               [ cable_DSL_modem ] - Operating mode
6 - Name               [ "BSM340_30fca2" ] - Base station name
7 - DHCP               [      on      ] - Obtain network address automatically
8 - History            [          ] - Log and alarm history
9 - Close              [          ] - Close the telnet session

Connection status : Logged in for 0 days, 2:02:44, Rx 1673282 / Tx 589085 bytes
IP Address : 192.168.001.101 Mask: 255.255.255.000 Gateway: 192.168.001.001
DNS servers: 024.093.067.065, 024.093.067.064
Domain Name:

Enter an option number or name
>
```

ベースステーションの設定は簡単です。 の menu 画面のオプション アクセスするために、メニュープロンプトで番号をタイプできます。

ロードファームウェア

BSx342 はファームウェアと前もって積まれて来、ボックスの解決する間、BSx342 のための[最新](#)版ファームウェアをロードすることは賢明です:

1. リセットモードに新しいファームウェアをロードしたいと思うところにベースステーションを置くために 3 秒の小さいオブジェクトの **Reset ボタン**を (電源 接続の左側にユニットの背部にある) (つまようじかペーパークリップのような) 押して下さい。中央 LED は黄色く点滅し始めます。
2. ファームウェアイメージをベースステーションにアップロードするために、BSCU を使用して下さい。デスクトップの BSCU アイコンをダブルクリックしか、または **Start ボタン**メニューナビゲートし、BSCU を開始するために『Base Station Client Utility』を選択して下さい。
3. ユーティリティがロードしたら、BSCU メニューから『Base Station』を選択し、『Load New Firmware Into Base Station』をクリックして下さい。ファームウェアファイルをアップグレードのために必要とされて見つけるためにプロンプト表示されます。ファイルを検し、**Open ボタン**をクリックして下さい。
4. 経過表示バー ディスプレイはリセットモードのベースステーションにファイルとしてアップロードされます。経過表示バーはベースステーションが再起動する間、およそ 95%で停止するようです。ベースステーションがバックアップの、転送がなされるコンピュータ回

復するベースステーションへの接続を、およびバーは 100%に行きますとき。

関連情報

- [Cisco Aironet 340 シリーズ テクニカルノート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)